

9月のくくりわなによる捕獲試験について

■目的

大台ヶ原におけるニホンジカの平成21年度の目標捕獲数は100頭であり、9月1日現在54頭が捕獲されている。ドライブウェイ閉鎖期間中のみの捕獲では、目標頭数の達成は難しいことが予想される。

また、ミヤコザサ草地を餌場として利用するニホンジカ個体数は夏期に増加し、剥皮等による森林への影響も夏期に大きくなることから、夏期を含むドライブウェイ開放期間中における個体数調整の重要性は高い。

そこで、ドライブウェイ開放期間中における利用者の安全性を確保した上でのくくりわなの効率性の検討を行う。

■実施期間

わな設置期間：9月14日（月）～10月2日（金）

※注）利用者の安全性を考慮し、わなの働は平日の夜間のみとする

■方法

- ・わなの種類：松葉式足くくりわな「シシキラー」
三生式自動制御装置付き足くくりわなの2種類を使用。
- ・シカの警戒状況や利用者の状況を確認するため、赤外線自動撮影カメラを設置。
- ・わなの設置予定場所を図1に示す。設置予定箇所数は12箇所程度。

・請負者：(財)自然環境研究センター

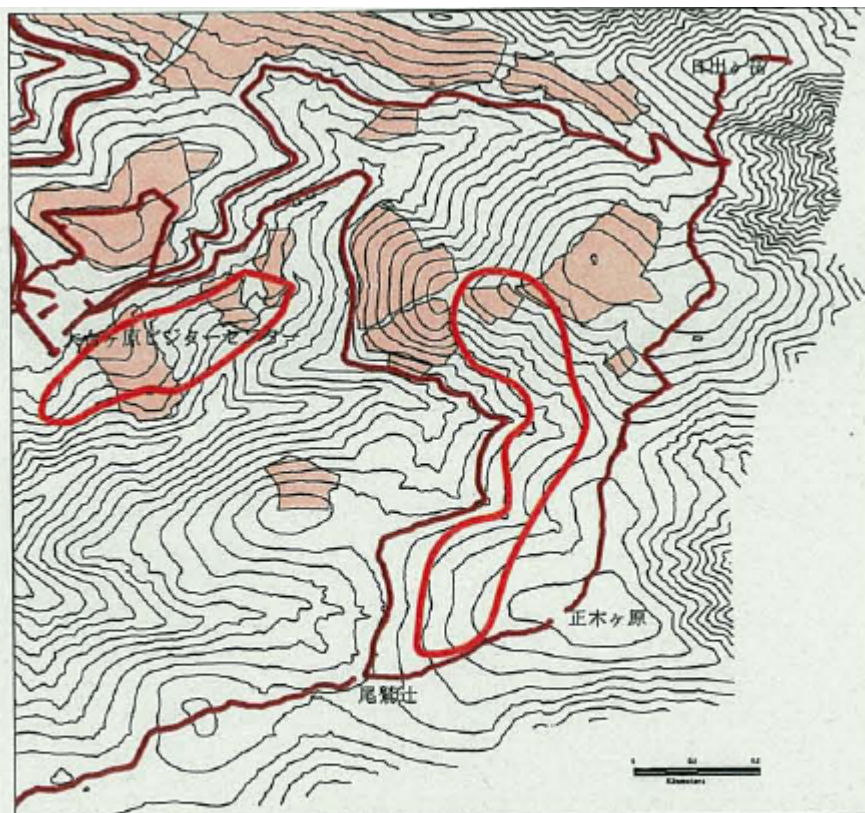


図 1 わな設置予定区域

(○：わな設置予定区域 ■：防鹿柵)